小学校５年　国語　調査結果の考察

（１）設定通過率との比較　　※表中の数値は設問数

分類／設定通過率の	観点別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	言語事項	
＋10％ より高い	0	0	0	2	2
±10％ の範囲内	2	1	3	5	１１
－10％ より低い	0	0	1	2	3
計	2	1	4	9	１６

（２）考察

①　全体について

ア　「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。

イ　「言語事項」については学校間での差が大きい。

②　成果

ア　「読むこと」では、段落の内容を整理しながら読んだり、事実と意見の関係を押さえて筆者の論の進め方を考えながら読んだりすることが、おおむね良好である。

イ　「言語事項」では、漢字の読み・書き、書写についてはおおむね良好である。

③　課題

ア　「読むこと」では、内容の理解において、細部の表現についての読み取りの力が十分身に付いていない。

イ　「言語事項」では、修飾語の理解、辞書の活用について、知識の定着が十分身に付いていない。

（３）今後の指導

ア　「読むこと」では、筆者が何を伝えようとしているかを、細かく読み取る力と大きくつかみ取る力の、どちらの力も付ける指導を工夫したい。

・語句の関係、段落相互の関係を読む力を付けるために、文章の中での語句が互いにどのような関係にあるのか、どの段落のどの部分に結び付いているかを明確にとらえさせることが大切である。

・目的に応じて文章全体の要旨を捉えさせたり、その根拠となる具体的な語句や表現を的確に押さえさせたりする指導が、大変重要である。

13)　この文章の内容に**当てはまらない**ものはどれですか。次の**ア**～**エ**から一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

イ　「言語事項」では、修飾と被修飾の関係など、文の構成についての指導を充実させたい。

・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項、中学年の(1)ｲ(ｷ)「修飾と被修飾との関係など、文の構成について初歩的な理解をもつこと」と高学年の(1)ｲ(ｷ)「文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること」との連続性を十分に踏まえて指導を継続することが大切である。小学校段階で文節相互の関係について理解を定着させることが、言葉のきまりに関する事項の小・中の系統的な指導においても大変重要である。

・修飾と被修飾の関係だけでなく、主語と述語の関係など文の構成と合わせて指導する。

・「書くこと」と関連付けて、(1)の「イ自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。」の指導と合わせて指導することも大切である。

8)　次の文の＝部は、どの言葉をくわしくしていますか。**ア**～**エ**から一つ選んで記号を書きなさい。

ア 世界中の　イ たくさんの　ウ 子どもたちに　エ この地球の　すばらしさを　伝えたい。

小４との共通問題